

雄志・八千浦中学校区 同和教育だより

<雄志中・八千浦中・諏訪小・戸野目小・上雲寺小・高士小・八千浦小 共同発行>

[平成27年11月 No. 2]

ぬくもりを感じて

10月13日(火)に、雄志中学校で同和教育講演会が行われました。雄志中学校の皆さんをはじめ、校区内小学校の児童、保護者や地域の皆様にも多数参加いただいて、お話を聞きました。講師の中倉茂樹さん(徳島県同和地区青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局)からは、「ぬくもりを感じて」と題して、ご自身の体験から学んだことやわかってほしいことなどを熱く語っていただきました。参加した児童や生徒の感想(抜粋)を掲載します。



被差別部落のことは知っていたけれど、やっぱり自分には関係のないことと考えていたので、詳しく知ることができて良かったです。また、そう思っていたことも恥ずかしく感じました。皆と違うということだけでいじめや差別が起こっていたことにはとても驚きました。「子どものころに心から汗を流した人は強い人になる」という言葉が印象に残りました。そういう人になりたいと思いました。

みんながみんな同じ人間なんてありえないし、人それぞれの個性や境遇などでその人を決めつけてはいけません。自分や皆と違うというただそれだけのことで、差別は絶対にしたくないです。相手の自分と違うところを受け止めて、自分と違うということだけで相手の全てを決めつけるようなことは決してしないでいきたいです。(雄志中生徒)

私は、中倉さんの話を聞いて、同和教育ということがよく分かりました。しっかりと勉強しておく必要があると思いました。学校で習わないと、私は同和教育を知らないまま大人になって、差別する側になってしまうかもしれません。男女差別や部落差別などを少しでもなくしていきたいと思いました。そのために、いじめを見つけたら先生に言えるようにします。また、自分がいじめにあつたら、ためこまずに先生や親、友達に相談をします。差別によって苦しんでいる人を、少しでも減らしたいです。(高士小児童)

児童生徒たちは、純粋な心で同和問題を学び、「知る」「わかる」というレベルではなく、「行動を変えよう」という思いを表してくれています。私たちも、同和問題を「自分には関係のない問題」ではなく、「自分(たち)の問題」としてとらえ、学び、自らの行動を見つめていきましょう。

<講演会のご案内>

八千浦小中学校区でも、講演会が開催されます。

期日 平成27年11月19日(木)14:50~16:20

会場 八千浦小学校 体育館

講師 さいたま市五反田会館 指導員

古河邦子さん

演題 「共に生きることの幸せ」

先日ご案内を配付しております。多数のご参加をお待ちしております。

アンケートへのご協力、

ありがとうございました。

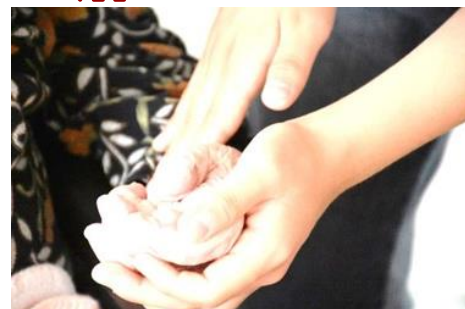
児童生徒向け、保護者、地域の皆様向けのアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。7校で集計をした後、結果や分析をお知らせいたします。

※本号から、7校の実践をシリーズで紹介していきます。裏面もご覧ください。

◀ 各校の実践紹介 ① 諏訪小学校 ▶

「優しさ」「温かさ」をたくさん浴びながら

「優しさ」や「温かさ」をいっぱい浴びた子は、優しい、温かい、思いやりにあふれた人になります。私たちは、様々な教育活動の中で、保護者や地域の皆さんの協力を得ながら、児童が「優しさ」「温かさ」を感じたり、発揮したりできる場をたくさんつくるよう心がけています。それが「人権教育、同和教育の礎」になると考えています。



1年生入学時には、6年生が学校生活のお手伝いをします。



二貫寺の森での学習は、3, 4年生がコーチ役を務めます。



全校宿泊学習での調理では、高学年が優しく手ほどきをします。



地域の皆様の温かく力強いご協力をいただいたの、5年生米作り。



1, 2, 5, 6年生はいなほ園、3, 4年生はみずほ園で、スタッフや入所の皆さんとの交流をさせていただき、貴重な学びを得ています。



地域の皆様と共に行う体育大会には、多くの卒業生が来てくれます。地域や後輩への「思いやり」を感じます。

<同和学习の授業公開について>

11月17日(火)の学習参観日に、各学年で同和学习を行います。14:00~14:45です。

諏訪小学校の皆様には後日ご案内を差し上げます。他校の皆様でも、参観のご希望がございましたら、諏訪小学校・風間(学校 Tel 025-520-2103)まで事前にご連絡ください。